

対象年度		令和 6年度						総合計画実施計画策定及び行政評価シート			
事務事業名		消防団活動事業						予算事業名		消防団活動経費	
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	消防組織法、消防法		
			09	01	02	0502	経常経費				
総合計画体系	住みたい・住み続けたい 安全・快適な都市を目指そう						事業の区分	主要事業			
	安全に暮らせるまちづくり							重点事業			
	消防体制の強化						担当課係等	防災安全課			
事業期間		継続 (平成27年度～ 年度)									
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】				
消防団活動に要する装備品などを充実させることにより、消防団の処遇・活動環境の改善を図る。また、消防団員数の減少や会社員の団員が増加傾向にあるため、平日日中に出勤可能な団員を確保し、本市の防災体制を強化する。							消防団に配備している5t級ポンプ自動車は、道交法改正後の普通自動車免許では運転ができない。他市においても免許の補助制度を創設している。令和4年度から消防団報酬は個人支給とすることから分団運営費用が必要となっている。				
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】				
消防団活動に関する装備品の充実、費用弁償、各種報償制度の実施、関連団体への負担金の支払や火災時における重機借上料。報酬の個人支給化による分団運営必要品の購入、新運転免許制度に対応するための準中型運転免許取得補助。							結城市消防団員				
							【事業をとりまく環境の変化】				
							災害時の消防団活動の重要性は高まっており、配備ポンプ車の点検、修繕時に活動可能とするため、予備車両が必要となっている。団長の会議も年々増加しており、緊急時以外に乘る車両が必要となっている。				
【令和 6年度 事業内容】			【令和 7年度 事業内容】				【令和 8年度 事業内容】				
・ 装備品の購入 ・ 準中型運転免許取得補助 ・ 車両、備品等の管理			・ 装備品の購入 ・ 準中型運転免許取得補助 ・ 車両、備品等の管理				・ 装備品の購入 ・ 準中型運転免許取得補助 ・ 車両、備品等の管理				

■事業費

		R04年度	R05年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	16,592	19,611			
歳入計（千円）		16,592	19,611			
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）			
	07 報償費	402	466			
	08 旅費	11	209			
	09 交際費	30	100			
	10 需用費	7,065	8,496			
	11 役務費	654	938			
	12 委託料	0	88			
	13 使用料及び賃借料	159	31			
	17 備品購入費	0	272			
	18 負担金補助及び交付金	7,955	8,727			
	26 公課費	316	284			
歳出計（千円）（A）		16,592	19,611			
伸び率（％）			18.19			
備考	負担金の令和7年度の増額は、消防操法大会県西地区大会の会場担当になることから発生する負担金と、筑西広域消防連絡協議会の会議出席負担金による。 総合計画74ページ 予算書163ページ					

令和 4年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R04年度	R05年度	R06年度
活動 指標	消防団入団者数	人	目標	50.00	50.00	50.00
	消防団に新規入団した人数		実績	43.00	0.00	0.00
	被用者数	人	目標	150.00	150.00	150.00
	消防団に所属する被用者数		実績	161.00	0.00	0.00
成果 指標	消防団員数	人	目標	300.00	300.00	300.00
	結城市消防団本部、第1から10分団、女性分団の団員総数		実績	234.00	0.00	0.00
	装備及び安全対策講習会	回	目標	3.00	3.00	3.00
	消防団活動に必要な装備及び安全対策の講習会実施数		実績	2.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	消防団活動に要する装備品などを充実させることにより、消防団の活動環境の改善を図る必要がある。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	消防団活動に要する装備品などを充実させることにより、消防団の活動環境の改善が図られ、地域防災力の強化に繋がる。
	手段の妥当性	A 妥当である	消防団活動に要する装備品などを充実させることにより、消防団の活動環境の改善が図られ、地域防災力の強化に繋がる。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	消防団活動における装備品の必要性を精査し、行政からの支給品・貸与品と各分団独自の装備品の区別をする必要がある。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	全消防団員を対象としているため、偏りはない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	新たな基準に対する装備品の配備、免許取得に係る補助は消防団活動において有効性が高い。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	消防団活動に要する消耗品の配備、更新を順次行っている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
新基準や総務省の推奨装備品の導入は充実しているが、消防団活動に要する消耗品等の購入にあたり、分団への費用割当てについて正 当な支給方法の考案が必要である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
消防団活動に必要な行政からの支給品、貸与品を精査し、消防団員へ配備する。また、配備している装備品・消耗品の耐用年数等を勘 案し更新していく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 消防団活動に必要な装備品等は、適切な配備を行っていく。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり	